

特別寄稿

上野周雄・ドラッカー学会理事

# 運送事業者が『マネジメント』を読んだら

混乱する時代において、指針を求める経営者は多い。見直されつつあるのが経営学者のP・F・ドラッカー。関連書籍がベストセラーになっている。これからの会社経営に必要なものは何か。ドラッカー学会の上野周雄理事が分析する。



上野周雄氏(つえの・ちかお) 昭和24年3月17日生まれ、61歳。山梨県出身。45年日本電子工学院電子工学部卒、赤井電機入社。平成11年アットウェル・システムズ社長、16年エイシア常勤監査役。18年ドラッカー学会理事。

## 全ト協・事業者大会特集

### 「国民の幸せ」運送の使命

ちょっと本屋さんの棚で起きている。「もしドラ」の主人公、川島みなみ(AKB48峯岸みなみさんがモデル)が教科書にして、チームを甲子園に導いたドラッカーの著書『マネジメント』(エッセンシャル版)もすでに50万部を超えた。見た目には売れそうもない地味なビジネス書が、人々を引き付けている。

「もしドラ現象」それが本屋のビジネス書コーナーに大量に平積みされている。すでに発行部数百万部を超え、勢いは衰えていない。手に取りにくい、手に取った二人に二人は買っていくという。父親が読み、娘に渡すと娘はすでに読んでいて、久しぶりに父娘の会話が弾んだとの話もよく聞く。「もしドラ現象」があたりをルニアで広くなった。

「もしドラ」の主人公、川島みなみ(AKB48峯岸みなみさんがモデル)が教科書にして、チームを甲子園に導いたドラッカーの著書『マネジメント』(エッセンシャル版)もすでに50万部を超えた。見た目には売れそうもない地味なビジネス書が、人々を引き付けている。

カーは「事業の目的」として有効な定義はただ一つ、それは顧客の創造である(『現代の経営』)という。顧客の創造が目的であり、顧客の欲求の満足を事業を決める。その目的のために、マネジメントは、自らの組織に特有な使命(ミッション)を果たし、仕事を通じて働く人を活かし、自らの組織の社会に対する責任を果たす。原点は「われわれのミッションは何か、顧客は誰か、顧客にとっての価値は何か」である。

短期的な観点で人員整理をしても、好況になったときに優秀な人材がいなければ、結果的にその企業は競争に負けてしまう。好況期には、波に乗りさえすれば結果は出る。しかし、底力は付かない。顧客にとつての価値を探れ

「運び」が必要では、トラック運送業の「顧客」は誰か、日本の経済、日本の国民である。経済活動は資源を加えて売るだけではない。運ぶことが必要である。トラック運送業の「ミッション」は何か、日本の経済界を支え日本を元気にし、国民を幸せにするために日本の大動脈を担うことである。トラック運送業は、経済活動の大動脈としての誇り高い使命を担う「気高き者たち」なのである。